



平成 21 年 5 月
No. 43

名古屋工業大学機械工学科内 巴会本部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

Tel or Fax (052) 735-5321

ホームページ: <http://www.mech.nitech.ac.jp/~tomoe/index.html>

巻頭言



巴会副会長

伊藤基之 (S43F)

私が名工大に入学したのは、東京オリンピック開催、東海道新幹線開業の年、すなわち昭和39年の春であり、日本は高度経済成長の真っただ中であつた。当時、国立大学は入試の実施時期により1期校と2期校に分かれており、名工大は2期校であつた。名工大の学生の多くが難関1期校の受験で運悪く失敗した者であり、その出身地は全国に及んでいた。愛知、岐阜、三重の東海3県出身者の割合は全体の3分の1程度で、現在その割合が80%以上にも達している状況と比べると地元出身者が随分少なかったと言える。

さて、当時と比べて名工大が最も大きく変わったところは、何と云っても法人化されたことであろう。国公立大学法人の学長に対する最近のアンケート調査によれば、「法人化以降大学はどう変わったか」という設問に対して、「良くなった」が71%、「悪くなった」「変わらない」がそれぞれ7%であったとのことである[2009年版大学ランキング(朝日新聞出版)]。多くの学長が法人化による変化を、「学長のリーダーシップが強くなり、教職員の意識が変わり、教員は教育に目が向くようになった」と捉えているようである。しかし、これらの見方はあくまでも国公立大学法人の学長としてのものと思われ、一般教員の見方はかなり異なるものと思われる。多くの教員は、法人化によって「悪くなった」と回答した学長たちのコメント、「運営費交付金の削減により財政状況が悪化し、教育・研究の基盤が崩壊の危機に面している」、「総人件費

抑制で人員削減のことばかりが課題となる」、「評価のための計画遂行に迫られ、教職員の業務負担が過大となっている」などに共感を覚えるのではないだろうか。

名工大においても運営費交付金の削減により、教員研究費は年々減少の一途を辿っており、近いうちに教員研究費はゼロになることが予想される。このため、研究の遂行には科学研究費補助金(科研費)などの競争的資金の獲得や、受託研究・共同研究の受け入れなど、外部資金の獲得が必要となるが、これら外部資金の獲得はそれほど容易ではない。例えば、科研費の採択率は23~24%であり、平均的に4.5回応募してやっと1回採択される程度である。また、昨年秋以降の急激な経済状況悪化により、企業からの受託研究や共同研究の受け入れも困難となってきており、各教員にとって研究資金の調達には実に頭の痛い問題となっている。

一方、教育の面においても、数年前から人件費削減のために、「共通教育全学体制」と称して、数学、物理、英語などの共通教育科目を専門学科(機械工学科など)の教員も担当することになった。これによって学外非常勤講師の人件費を節約しようというわけであるが、その分だけ専門学科教員の教育負担は過大になっているといえる。さらに最近では、5年間で5%以上という人件費の削減が義務付けられ、定年退職による欠員の補充もほとんどできない状態である。かくして教職員の人手不足の問題は、ますます深刻となっているのである。

巴会会員の皆様方におかれては、学内の教員がかくも厳しい状況の下で教育・研究に励み、さらには巴会活動にも熱心に協力されていることをご理解頂き、母校に対してこれまで以上の温かいご支援を頂ければ幸いである。

'08 総会講演会資料 (平成20年6月21日)

人を中心にしたものづくり

アイシン精機株式会社 常務役員
加藤喜昭

平成20年6月21日(土) 巴会総会にて、「人を中心にしたものづくり」として講演させていただく機会があり、その内容について本誌にて紹介する。

**1. 人を中心にしたものづくりとは**

経済産業省から2006年4月に「五感で納得できる暮らしを目指して一人間生活技術戦略」が発行されており、その中で人々が生き生きと暮らせるために実現が望まれる4つの社会像(将来のゴール)が制定されている。そのゴールとは「1. 心身ともに健康な生活の実現」「2. 楽しく安らげる暮らしの実現」「3. 安全・快適なモビリティの実現」「4. 安全・安心で働きがいのある環境の実現」である。

これらを実現するためにいくつかの具体的な項目が示されているがその内容と現在我々が取り組んでいるものづくりの考え方で共通する多くの要素がありその関連性について整理してみた。

2. 安全・快適なモビリティ

このテーマを達成するための技術としては「①五感や生理に適した快適モビリティ」「②安全・自由な移動を実現する技術」「③エコ&セイフティドライブ支援」、また将来のゴールとして「①乗ると元気になるモビリティの実現」「②誰でも安全快適に自由に移動できる」「③安全快適に省エネドライブができる」と提案されている。

私は前職のトヨタ自動車時代に、2005年の愛・地球博のトヨタグループパビリオンにて披露したひとり乗りモビリティ「i-unit」を開発責任者として担当したが、その際に考えた未来のモビリティの

コンセプトには上記の内容と共通する点が多い。自動車は昔、人の移動手段として使われていた馬車から進化したものであり、椅子の四隅に車輪をつけて馬の代わりにエンジンを搭載した。つまり移動するための空間の中に人間を配置したものである。それに対し「i-unit」は人を中心として考えられたモビリティであり、コンセプトは「人間の拡張」、人と車が融合することにより人間の可能性を限りなく広げてゆくことを狙っている。「i-unit」の「i」は「Inspire the Individual」を意味し、個人の移動範囲を広げることで自然、人、社会、文化とふれあう機会が増え、新たな感動、発見、創造が生まれる。それを実現するために車の全体デザインは太陽の光を命のエネルギーに換える未知の力の表現、生物の持つ合理性、Simplicityの表現として「葉」をモチーフとし、人が移動するために最適なデザイン、大きさ、性能を考えた。たとえば人々の間を走行するときは、まわりを歩く人と目線が同じになるようにシートの高さを決めたり、意のままに運転することができるように移動したいという意思で自然に手が反応して走らすことができる従来のステアリングやアクセル、ブレーキに変わるドライブコントローラの搭載や、人と同じようにその場旋回で方向が変えられ後進することなく走行ができるシャシーの構造、人の五感のように直感的に周りの情報を入手できるインターフェースシステム等、人間の持つ特性を生かせる機能を多く取り入れた。

また、安全に対しても未来のITS技術を利用して、ぶつからない車のイメージを提案、環境においてもLCA(ライフサイクルアセスメント)の観点から植物ベースの環境親和材の採用やCO2を発生させないEV(電気自動車)としてパビリオンのショーを実証実験的に実施し、多くの方から賞賛の言葉を頂いた。

「i-unit」はその後、次世代モデル「i-REAL」として発展し、近未来の実用化の方向に向かって開発が進められている。

これらは未来のモビリティのコンセプトを提案したものであるが、現在、実際に販売されている自動車にも人をサポートするシステムが多く導入されている。弊社が担当している運転支援システムの分野では、1990年代から「ナビゲーションシステム」が車両に搭載されるようになり、2000年には「バックガイドモニタ」と呼ばれる駐車時のアシストシステム、2003年には駐車時のハンドル操作を自動化した「インテリジェントパーキングアシスト」。また、ドライバーの視覚支援として2002年に「フロント&サイドモニター」、2006年に「ワ

イドビューモニター」、さらに、安全支援として予防安全としての注意喚起と衝突時の被害を低減する「プリクラッシュセイフティーシステム」と連動した「ドライバースモニター」としてわき見判定機能を2006年に、まぶたの開度の検知機能を2008年にそれぞれ商品化した。

3. 人間工学から生理学へ

先に述べたゴールで、「心身ともに健康な生活の実現」、「楽しく安らげる暮らしの実現」については人間の体や心に関する分野に大きく関連するのでこの点から考察してみた。

従来、商品を開発する時、顧客としての人の観点から人間工学的アプローチを行ってきた。ユニバーサルデザインなどはこの代表的な例である。一方、さらなる人間の要素を追及していくと人間工学的観点に加え、「脳」を中心とした生理学的観点からのアプローチが必要と考えられるようになってきた。

人の内部には「体内時計」と呼ばれるリズムがあり、この生体リズムは脳の活動に強く影響を与えている。これらの人を基本とした技術を核として、安心（安全）で快適な生活を提供できる商品開発を進めている。

ひとつの生体リズムとして「サーカディアン（約1日の）リズム」というものがあり、睡眠・覚醒、体温、成長ホルモンの分泌といった人間の機能はこの「サーカディアンリズム」と関連して働いている。

この中で健康・疲労回復の基本であり覚醒度が安全に直結する睡眠・覚醒の「サーカディアンリズム」に着目した。一日の生活でこのリズムが狂ってくると目覚めが悪い、日中眠くなる、夜、寝つきが悪いといった状態になる。「リズムの存在」を前提に、「適正なリズム」の維持ができるよう、安心（安全）で快適な生活ができるサポートシステムの開発に取り組んできた。まず、心理学、生理学をベースとした人の生体情報検出技術を使って睡眠推定、眠気推定、疲労推定を行い、より良い生活のリズムとなるようサポートする。弊社は自動車分野以外にベッド、シャワートイレ、介護用ベッド、電動車椅子といった生活系の商品も製造販売しており、上記の考え方をういたベッドを含めた寝室空間の開発を行った。人の眠りの状態に応じて、それぞれに最適な睡眠環境を提供する、「快眠サポートシステム」。弊社のベッドとブラインドシャッターを組み合わせ、「1. スムーズに寝入り」、「2. ぐっすり睡眠」、「3. すっきり目覚め」の3ステップで生体リズムに合わせて光や振動を調節

し、快適な睡眠を提供する。眠りにつく時には、ふくらはぎに1/fゆらぎの振動を与えて体をリラックスさせ、証明は暖色系の光の照度を徐々に落とすことで自然に寝入る環境を整える。睡眠中には弊社が開発したマットレスにより血行促進に欠かせない寝返りを楽にすることで、体力を消耗しない快適な睡眠を実現。目覚めるときは、目覚まし時計で無理に起こされるのではなく、起床時間の少し前から照明が徐々に照度を上げ、窓のブラインドシャッターが開き、朝の光で爽やかに目覚められるよう促す。本システムは「2008年度グッドデザイン賞」を受賞し、現在東京、横浜、名古屋の弊社ショールームおよび2箇所のホテルに設置し、体験およびモニター評価を行っている。



快眠サポートシステム

4. 人を中心にしたものづくりとは

従来、ものづくりの基本として「安全」「環境」「快適」といった観点から考えられることが多くあったが、今回述べさせてもらったように「安全」「環境」に加えて「快適」の代わりに新たに「人」の観点から考えることを提案する。産業や技術の進化によって快適、ハイテク・インテリジェントの追求が行われてきたが、一方、その結果として環境負荷や人間負荷が増大した。自分の快適さのためだけでなく人・環境・社会・未来と共生できる商品、また、その商品を使うことによって人々が感動を得られるような商品・システムの開発が今後不可欠である。

私は子供の頃、鉄腕アトムから21世紀の未来を想像した。「i-unit」を見た子供たちが30年後に何を生み出してくれるか楽しみである。

関 東 支 部 便 り

巴会の皆様には、日ごろ大変お世話になっております。米国のサブプライムローンに端を発した景気後退で、大学卒業予定者の就職内定取り消しなどの報道がありますが、母校の先生に伺ったところ、殆ど影響がないとのこととて安心致しました。

さて、平成20年度の巴会関東支部における活動を、以下のとおりご報告致します。

1. 関東支部の活動

巴会関東支部は、名古屋工業会東京支部の構成メンバーとして、工業会東京支部の下記の行事に参加しています。

- ① 支部総会：毎年11月に開催されます。関東支部「巴会秋の集い」を兼ねています。
- ② ごきそサロン：3月と7月の第2水曜日18時30分から東京駅地下街八重洲倶楽部で、名古屋工業大学OBの様々なテーマでの興味あるお話を伺うことができます。
- ③ エクスカーション：5月中旬から6月上旬の間に毎年1回「日本文化遺産を巡るたび」で、関東各地の魅力溢れる名所を訪れています。20年度は、5月31日（土）に例年のバス旅行から趣を変え、近場での都市観光ということで、上野公園口を出発点とし、不忍池の周りを廻って、横山大観記念館、旧岩崎邸庭園見学を見学、そして、森鷗外の住居を改築したレストラン「沙羅の木」京懐石を堪能しました。25名の参加でした。
本年21年度は、6月6日（土）、寅さんで有名な葛飾柴又の帝釈天、山本亭、寅さん記念館、矢切の渡しの見学のあと、「川甚」の川魚料理で昼食、そして、しばられ地蔵、水元公園の花菖蒲田、ポプラ並木、メタセコイアの森などの散策が計画されています。
- ④ 囲碁（東京棋友会）：会員23名の囲碁同好会です。毎月全土曜日の13時から八重洲倶楽部（ただし奇数月の第4土曜日は八重洲囲碁サロン）での定例会で自由対局、その他、総会兼新春大会（正月）、九州工大との対抗戦などが開催されています。
- ⑤ ゴルフ（東京ゴルフ会）：定例コンペを神奈川、千葉、埼玉他で年間4回（4月、6月、9月、12月をベースとして）開催されています。12月は忘年会を兼ねています。

これらの行事の案内は、名古屋工業会誌「ご

きそ」に掲載されますので、お申込みの上ご参加下さい。

2. 平成20年度「巴会秋の集い」（兼名古屋工業会東京支部総会）

名古屋工業会東京支部総会は、平成20年11月13日（木）竹橋のKKRホテル東京にて開催されました。残念ながら、例年出席される松井信行学長（E41）は、文科省のヒアリングのため欠席されたが、戸刈吉孝名誉教授（F39）、伊藤基之教授（M43）、渡辺義見教授（K60）、名古屋工業会から篠田陽史理事長（M33）、二杖幸夫常務理事（K39）をお迎え致しました。

参加者の合計は139名（来賓含む）でした。巴会関東支部の会員は下記12名が参加し近況報告や昔話に花が咲きました。

参加者氏名（敬称略）

小関 健二（M18）、内海 安博（M26）、
松波 正壽（M34）、東島 良治（M35）、
星野 三郎（M35）、野澤 滋為（M36）、
松岡 達生（M37）、浅野 光彦（M43）、
馬場 利昭（M43）、張田 吉昭（M43）、
小野 尚純（M45）、松浦 明人（M47）

3. 平成21年度「巴会秋の集い」（兼名古屋工業会東京支部総会）

本年度も平成21年11月12日（木）、昨年と同様、東京駅近くのKKRホテル東京（地下鉄東西線竹橋、千代田線大手町、都営地下鉄線神保町）にて開催されます。在京同窓生との交流の場であり、また母校の最新の状況を知る良い機会ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

4. その他

八重洲倶楽部（東京都中央区八重洲2-1八重洲地下街中1号：電話03-3275-0801、FAX03-3275-1106：利用時間は10時～22時、日曜祝日は休み）は、名古屋工業会東京支部が会員となっている会員制クラブで、受付で東京支部専用の署名簿に記入すれば、ロビーでの待ち合わせ、喫茶や娛樂室での囲碁・麻雀などが利用できます。ただし、申込者は名古屋工業会会員である必要があります。

（S43 張田 吉昭、関東支部長）

関西支部便り

巴会関西支部の年間活動は、1月第4土曜日の大阪近傍の温泉地での新年懇話会、6月第4土曜日の総会と翌日のゴルフ会です。名古屋工業会大阪支部の総会、歴史探訪会、ゴルフ会、釣り同好会、単科会の工場見学会まで含めると、3ヶ月に2回程度の同窓会活動になり、幅広い先輩後輩の交流と、最新の技術動向の把握もできます。会員は興味ある企画を提案・実現でき、卒業生は各活動に参加できます。ホームページ www.gokiso-osaka.com/ をご参照ください。

平成20年度の巴会関西支部総会は、来賓2名を含む30名の参加を得て、6月28日（土）大阪産業創造館にて開催されました。商工会議所が運営する「大阪企業家ミュージアム」にて、大阪の地が輩出した105名の偉大な企業家の精神に触れた後、定時総会が開催。総会終了後は16Fの大阪城・生駒山が展望できるレストランに全員移動し、M28三宅祐司氏のご発声で「乾杯!」、懇親会へ。近況と思ひ出話で大いに盛り上がりました。

年9月6日（土）に木津川CC（柳生コース、笠置コース）で親睦ゴルフコンペが、9名の参加で開催され、K40河辺 彰 工業会関西支部長が48,49で優勝されました。

11月8日（土）に名古屋工業会大阪支部の総会

（巴会が幹事）が中央電気倶楽部で開催され、M45 林 農 鳥取大学名誉教授が記念講演「日本の風力発電について」をされました。

平成21年1月24日（土）、巴会関西支部の新年（懇話）会が17名の参加者を得て、高槻市内の摂津峡温泉「かじか荘」において開催されました。昼前からゆったりと露天風呂や蒸し風呂で身体と心を暖めた後、園川士郎氏（M32）から、「私の印象的（危機的）な思い出」と題して、少年時代、名工大自動車部、そして神戸製鋼所時代の思い出話をご紹介します。園川さんの朝鮮半島での少年時代の生活と敗戦引上げから、企業時代のプロジェクト勝負など貴重な体験談を熱を込めて紹介いただき、出席者全員が興味深く伺いました。その後約2時間にわたって、軽くお酒も交えながら賑やかに昼食会を楽しみました。

平成21年度の巴会関西支部総会は、6月27日（土）大阪市京橋のパナソニックショールームを見学（予定）の後、千里地区のパナソニックリゾート大阪で開催。懇親会・宿泊も同施設。28日（日）は茨木高原CCでゴルフ会および、千里万博記念民族博物館見学を計画しております。お誘いあわせの上、多数ご参加ください。

（S45 掛田 健二、関西支部長）

寄 付

S22年卒業のクラス会から、20万円を寄付していただきました。平成20年10月8日に、加藤常夫様と稲本稔様が本学を訪問され、会計担当の早川理事に寄付金を渡されました。寄付金は、一般会計に繰り入れ、巴会の発展のために有益に使用させていただきます予定です。



叙位叙勲

平成20年度春に叙勲をお受けになった巴会会員のご芳名をお知らせいたします。成田氏は、長年巴会の役員として、巴会の運営に対して多大なご尽力をされました。ここに心よりお慶びを申し上げますとともに、今後のご健勝をお祈りします。

旭日双光章 成田 政敏（S35）



巴会運営便り

- 平成20年6月21日学内において、平成20年度巴会総会・理事会が開催され、全議案が承認されました。総会後の講演会では講師としてアイシン精機（株）常務役員の加藤喜昭様をお招きし、演題「人を中心にしたものづくり～パーソナルモビリティを通して」について大変興味深いご講演を拝聴しました。
- 平成20年10月2日理事会が開催され、20年度の活動計画、巴会収支改善策、巴会ホームページ改定状況、名古屋工業会活動計画の支援について議論がなされました。平成20年3月3日理事会が開催され、20年度決算案、21年度活動計

画・予算案、理事交替、終身会費納入状況と収支改善策、大学院生に対する学資援助、名古屋工業会名古屋支部活動状況等について報告、協議がなされ、新年度総会への対応・準備を終了しました。

- 平成21年3月23日に、名工大12号館M1講義室に於いて巴会主催の巴会賞授与式および卒業記念パーティが開催され、長野会長をはじめ多くの先生方並びにOBの参加で、盛大なパーティとなりました。準備に当られた先生方に心より感謝します。

(S57 伊藤 克彦、事業担当)

訃 報 (次の方々のご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り致します。)

S7 猪飼 善弥 H20. 8. 5	S13 山田 武夫 H20. 4. 7	S23 田知 清夫 H20. 10. 10
S7 内海 悦一 H19. 5. 7	S15 高橋 和 H20. 6. 30	S23 相木 茂男 H19. 6
S8 吉田 元雄 H20. 1. 23	S15 福井 節郎 H15. 9. 20	S24 豊島 和典
S9 鬼頭 秀三	S16 長谷川 博 H20. 3. 18	S30 福岡 泰二 H19. 9. 27
S10 上野 要 H18. 12. 17	S16 森 正隆 H21. 1. 30	S33 矢野 義弘 H17
S12 引山 次郎 H18	S20 稲生 宏 H18. 12. 18	S41 雪本 光紘 H20. 9
S12 谷口 稔 H19. 12. 4	S23 岡田 収一	S46 橋口 和文 H19. 3

学内報告

〈人事異動〉

名古屋工業大学機械工学科（大学院）において、次の先生方が退職されました。

伊藤 基之 田中 皓一
佐伯 義隆 林 高弘
山田 貴孝



〈学内事業補助〉

◆ソフトボール大会

平成20年9月15日、巴会ソフトボール大会が千種グラウンドにて開催されました。途中から雨が降り出すという悪天候の中、計16チームが優勝を争い、激戦の末に藤本・佐野研究室が優勝、大岩・石野研究室が準優勝、3位は渡辺義見研究室となりました。



◆学会出席補助

＝学会発表を終えて＝

機能工学専攻 大岩・石野研究室 中間達彦

私は、去る 2008 年 10 月に北海道札幌市で開催された「The 7th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference」、日本語にすると「第 7 回日本・韓国熱流体工学カンファレンス」において学会発表を行いました。発表論文のタイトルは「Effects of Ambient Combustion Gas Flow on Flame Patterns in Micro PET Particle Combustion」、日本語題目は「PET 樹脂微粒子の燃焼過程に及ぼす周囲燃焼ガス流の影響」でした。学会名から想像ができるように、この学会は国際学会で、発表は英語での口頭発表（発表 15 分、質疑応答 5 分）でした。場所が北海道という遠方でしたので、巴会からの旅費援助をいただくことができ、学会に出席して発表することができました。厚く御礼を申し上げます。

＝学会参加を通して＝

機能工学専攻 渡辺研究室 田伏賢一

私は、去る 2008 年 9 月に仙台市の仙台国際センターにおいて開催された第 10 回傾斜機能材料国際シンポジウムにて「Effect of Casting Condition on Density and Hardness Gradients of Al-Al₂Cu alloy FGM Fabricated by Centrifugal *In-Situ* Method（遠心力晶出法による casting 条件が Al-Al₂Cu 傾斜機能材料の密度傾斜および硬さ傾斜に及ぼす影響）」と題してポスターセッションに参加してきました。巴会からシンポジウム参加の援助を頂き、無事に発表を終えることが出来ましたので、ここに報告いたします。

私は、今回の国際会議にて自分の卒業論文研究である Al-Al₂Cu 傾斜機能材料の製造に関する発表を行いました。本研究は、傾斜機能材料の製造方法である遠心力晶出法の casting 条件を変化させることによって、傾斜機能材料内部の密度および硬さ分布を制御できることを示した内容です。本国際会議は、傾斜機能材料に特化した会議であるため、今後の研究につながるようなコメントなどを頂くことができました。

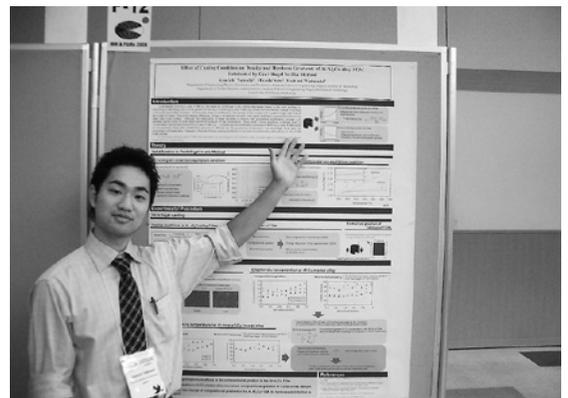
ところで、国際学会であるために、英語での質疑・応答が必要とされます。そのため、この質疑応答を通して、これからの研究者には英語を話す能

私の博士前期課程における研究内容は、廃棄・回収されたプラスチック樹脂を粉末に粉碎して燃焼させ、発生する熱エネルギーを熱源として利用するというものです。したがって、いわゆる「廃プラ」のサーマルリサイクルを目指した典型的な低環境負荷燃焼技術の開発研究です。今回の発表に際しては、指導教員である大岩紀生教授からの英語表現を始めとする懇切丁寧な指導のもと、無事に発表を終えることができました。就職してからも、学会発表で体験した「聞く人にとって分かりやすく表現する」ことの重要性を忘れずに、与えられた業務の遂行に心掛けていきたいと思えます。

最後になりますが、より多くの学生が学会活動などの貴重な体験をできるように、今後も巴会からの旅費援助の継続をお願い申し上げます。私も巴会の一員として、これからの皆様の活躍を願っています。

力は重要になっていくと感じました。また、他の参加者の研究を直接聞くことが出来たことを含め貴重な体験が出来たと思っています。さらに、傾斜機能材料という分野の中でも、様々な技法、応用が考えられることを知り、大変勉強になりました。他大学の同世代の方とも研究のお話する機会も初めての経験であり、私の研究生活に対して刺激になりました。

最後ではありますが、この学会発表を通して私たちが得た経験を、以降もより多くの学生にも経験していただけるように今後も巴会からの援助をお願い申し上げます。そして、私にこのような貴重な支援をして頂きましたことに厚く御礼を申し上げます。



ROAD TO DREAM !!

名古屋工業大学工学部付属ものづくりテクノセンター
Formula JSAE プロジェクト

大学講義とは違う実践形式の教育プロジェクト

当プロジェクトは、机上の講義形式の授業では得られない“ものづくり”を学生が実際に体験することで、社会に出ても通用する若手エンジニアを育成する教育プログラムの一環として6年前に設立しました。

「全日本学生フォーミュラ大会」に出場するために、学生自ら車両の設計、製作だけでなく、会計管理、資金調達、渉外スポンサー活動を初めとした運営マネジメントも学生のみで行っております。

昨年九月に行われた大会では、車両トラブルなどが合い重なり、出場チーム77校中36位と悔いの残る結果となりました。現在はその悔いを晴らすため、次回の大会に向け、新車両の製作にあたっています。今年こそは結果の出るよう、メンバー一同、全力で努力しています。

また、当プロジェクトではスポンサー様を募集しております。ご興味のある方は是非ご連絡ください。

石川 正芳 (イシカワ マサヨシ)

リーダー：機械工学科4年

名古屋工業大学11号館107室

Tel : 090-6806-2724, Fax : 052-735-5629

Mail : nit_formula_project@yahoo.co.jp

http://www.qitc.nitech.ac.jp/formula/



卒業式・卒業記念パーティー

平成21年3月23日に卒業式が挙行され、機械工学科では第一部136名、第二部26名が卒業、機械工学科関係の大学院では83名が修了しました。卒業式では、学業成績が優秀な次の学生に名古屋工業会賞が贈られました。

★名古屋工業会賞 受賞者

第一部：宮本裕貴、磯野美帆

第二部：富永和良

卒業式の後、巴会主催の卒業記念パーティーが開催されました。長野会長をはじめ名誉教授の先生方、100名を超える学生が参加して盛大なパーティーになりました。ここで、学業成績が優秀な次の学生に日本機械学会賞、巴会賞が贈られました。

★日本機械学会賞 受賞者

〔畠山賞〕

第一部：長島 聡、大澤明日菜

第二部：浅井一仁

〔三浦賞〕

大学院：近藤寛之、松野匡輔

★巴会賞 受賞者

第一部：杉本幸夫、福井岳人

第二部：廣間靖典



卒業生の進路・就職先

■ 大学院

愛三工業(株)	(株)島津製作所	(株)豊田自動織機	本田技研工業(株)
アイシン・エイダプリュ(株)	新日本製鐵(株)	トヨタ自動車(株)	三井化学(株)
アイシン精機(株)	新日鉄エンジニアリング(株)	トヨタ紡織(株)	三菱重工業(株)
石川島播磨重工業(株)	スズキ(株)	トヨタ車体(株)	三菱電機(株)
(株)INAX	(株)ソフトウェアクレイドル	日本ガイシ(株)	(株)マキタ
NTN(株)	大同特殊鋼(株)	パナソニック(株)	ヤマハ発動機(株)
オークマ(株)	千代田化工建設(株)	林テレンプ(株)	
川崎重工業(株)	(株)デイスコ	(株)日立オムロンターミナル	名古屋市役所
(株)キーエンス	(株)デンソー	ソリューションズ	
京セラ(株)	東海ゴム工業(株)	不二越	名古屋工業大学大学院
(株)JTEKT	TOTO(株)	富士重工業(株)	
(株)シャープ	(株)東邦ガス	ブラザー工業(株)	

■ 学部 第一部

(株)愛三工業	オムロン(株)	トヨタ車体(株)	経済産業省特許庁
アイシン・エーアイ(株)	(株)ジェイテクト	トヨタ紡織(株)	
アイシンエンジニアリング	スズキ(株)	(株)ナガセインテグレックス	名古屋工業大学大学院
アイシン精機(株)	ダイハツ工業(株)	フタバ産業(株)	名古屋大学大学院
(株)IHI	津田駒工業(株)	ブラザー工業(株)	東京工業大学大学院
(株)アドヴィックス	(株)デンソー	(株)VSN	東京大学大学院
(株)アルテクナ	(株)東芝	本田技研工業(株)	福井大学大学院
(株)荏原製作所	トヨタ自動車(株)	三菱自動車工業(株)	早稲田大学大学院
オークマ(株)	(株)豊田自動織機	三菱樹脂(株)	

■ 学部 第二部

(株)アイ・エイチ・アイ	京セラ(株)	(株)ニッセイ	愛知県建設部
マリンユニテッド	(株)シーアールイー	橋本電機工業(株)	
アイシン・エイダプリュ(株)	テービーテック(株)	(株)VSN	名古屋工業大学大学院
アドヴィックス(株)	トヨタ紡織(株)	ミヤマ工業(株)	九州工業大学大学院
給湯システム(株)	(株)ノックスデータ	メイテックフィルダージ(株)	

以上は、巴会に報告された名簿から調査した平成20年度の卒業生・修了生の進路・就職先です。報告がなかった若干名の学生については、記載されていません。

校友会館のご案内

今年度の懇親会が行われる校友会館は、創立100周年事業によって、旧三協会館が改修されたものです。1階には、喫茶レストラン「Cafe sala」が営業しています。2階には、本学100年の歴史が展示されています（祝祭日を除く月曜日～金曜日の10時～17時）。機械工学科の展示コーナーもあります。お近くに来られた際には、ぜひお立ち寄りください。



平成 21 年度 巴会理事会・総会 議題資料

(1) 平成 21 年度役員名簿 (案)

会 長：服部 桂 (S41)	玉野 真司 (教員) 藤井 郁也 (教員)
副会長：学外・大西 一 (S49)	牛島 達夫 (教員) 横田 和彦 (教員)
学内・鬼頭 修己 (教員)	牧野 武彦 (教員) 佐藤 尚 (教員)
理 事：張田 吉昭 (S43, 関東支部長)	監 事：近藤 邦治 (S45) 神谷 庄司 (教員)
掛田 健二 (S45, 関西支部長)	最高顧問：山田 豊 (S22)
川崎 治憲 (S45) 今村 陽是 (S48)	特別顧問：金原 淑朗 (S25)
宇佐美 勝 (S48) 新美 重秋 (S50)	顧 問：
辻 秀武 (S50) 尾関 良重 (S56)	小出 謙 (S16) 西坂 誠三 (S16)
伊藤 克彦 (S57) 仙石 武広 (S59)	岩月 央 (S19) 中谷 宗三郎 (S20)
石川 拓生 (S60) 富田 庸公 (H01)	佐藤 真吉 (S22) 船橋 鉦一 (S28)
武内 博明 (H01) 大島 成通 (H02)	山中 由男 (S29) 石川 宏 (S30)
杉山 耕一 (H04) 中村 隆 (教員)	大河内 禎一 (S31) 塩見 正直 (S34)
井門 康司 (教員) 古谷 正広 (教員)	木村 金治 (S35) 成田 政敏 (S35)
伊藤 智啓 (教員) 大羽 達志 (教員)	江崎 俊夫 (S38) 長野 靖尚 (S41)

(2) 平成 20 年度事業報告 (案) および平成 21 年度事業計画 (案)

	平成 20 年度事業報告	平成 21 年度事業計画
会報	「ともえ」No. 42 発行 H20. 6	「ともえ」No. 43 発行 H21. 5
総会	名古屋工業大学 3号館 2階 M3 講義室 H20. 6. 21	名古屋工業大学 3号館 2階 M3 講義室 H21. 6. 13
講演会	名古屋工業大学 3号館 2階 M3 講義室 H20. 6. 21 講演者 アイシン精機 (株) 常務役員 加藤 喜昭 様	名古屋工業大学 3号館 2階 M3 講義室 H21. 6. 13 講演者 名古屋工業大学機械工学科 松本 健郎 教授
総会 付随行事	フォーミュラカー製作の紹介 (学生)	(1) フォーミュラカー製作の紹介 (学生) (2) オープンキャンパス
懇親会	名古屋工業大学 2号館最上階ラウンジ H20. 6. 21	名古屋工業大学 校友会館 H21. 6. 13
支部	(1) 関西支部総会・懇親会 H20. 6. 28 (2) 関東支部秋の集い H20. 11. 13	(1) 関西支部総会・懇親会 (2) 関東支部秋の集い
学内事業	(1) ソフトボール大会 H20. 9. 15 (2) 巴会賞授与式および卒業記念パーティー H21. 3. 23 (3) 院生学会出席補助 (18件) (4) フォーミュラカー製作補助	(1) ソフトボール大会 (2) OB は語る会 (3) 工場見学会補助 (4) 巴会賞授与式および卒業記念パーティー (5) 院生学会出席補助 (6) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会 (3回)	理事会

(3) 平成20年度 会計報告案 (2008. 4. 1~2009. 3. 31)

(4) 巴会 平成21年度 予算案 (2009. 4. 1~2010. 3. 31)

[一般会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,306,125	会報発行発送費	1,063,489
クラス会費	248,150	支部補助	250,000
終身会費	1,196,680	総会/講演/懇親会	253,520
(卒業生)	(377,840)	学内事業補助	502,168
(在学生)	(818,840)	名簿整備費	166,813
寄付	200,000		
総会懇親会参加費	160,000	会議費	134,505
受取利息	1,078	事務通信費	124,224
		(支部通信費含む)	
名簿会計から繰入れ	381,742	雑費	22,910
基金会計から補助	500,000	次年度への繰越	1,476,146
合計	3,993,775	合計	3,993,775

[奨学会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	2,128,017	巴会賞	45,000
受取利息	2,813	次年度へ繰越	2,130,830
基金会計から補助	45,000		
合計	2,175,830	合計	2,175,830

[基金会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	17,964,815	奨学会計へ補助	45,000
受取利息	28,080	一般会計へ補助	500,000
		次年度へ繰越	17,447,895
合計	17,992,895	合計	17,992,895

[名簿会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	391,780	名簿処理費	9,933
		事務費	105
		一般会計へ繰入れ	381,742
合計	391,780	合計	391,780

[一般会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,476,146	会報発行発送費	1,000,000
クラス会費	250,000	支部補助	250,000
終身会費	1,200,000	総会/講演/懇親会	300,000
(卒業生)	(200,000)	学内事業補助	600,000
(在学生)	(1,000,000)	名簿整備費	200,000
総会懇親会参加費	200,000	会議費	150,000
受取利息	1,000	事務通信費	150,000
		(支部通信費含む)	
工業会名古屋支部補助	70,000	雑費	50,000
基金会計から補助	800,000	次年度への繰越	1,297,146
合計	3,997,146	合計	3,997,146

[奨学会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	2,130,830	巴会賞	60,000
受取利息	2,000	次年度へ繰越	2,132,830
基金会計から補助	60,000		
合計	2,192,830	合計	2,192,830

[基金会計]

収 入		支 出	
前年度繰越金	17,447,895	奨学会計へ補助	60,000
受取利息	28,000	一般会計へ補助	800,000
		次年度へ繰越	16,615,895
合計	17,475,895	合計	17,475,895



正門から構内を望む

平成21年度巴会理事会・総会のご案内

日時：平成21年6月13日(土)

場所：名古屋工業大学3号館M3講義室

理事会・総会 14:00~14:50

講演会 15:00~16:00

演題：「機械工学の新しい潮流：バイオメカニクス」

講師：名古屋工業大学・機械工学科 松本 健郎 教授

懇親会 16:10~ (校友会館1階交流サロンにて)

会費：OB 5,000円 学生 500円 (懇親会に出席される方)

申込：クラス代表者へお申し込み下さい (当日受付可)。

なお、S40年以降卒業の方は直接巴会本部へハガキ
または電子メールにて6月6日までにお申し込み下
さい。

宛先：〒466-8555 名古屋工業大学

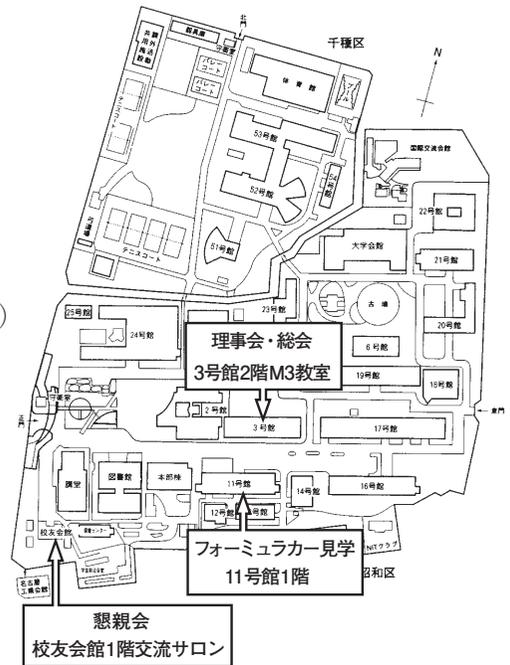
極微デバイス機能システム研究センター

山田 学

電話：052-735-5545 (直通)

E-mail：yamada.manabu@nitech.ac.jp

※当日はオープンキャンパスも開催されます。自家用車の乗り入れはご遠慮下さい。



巴会総会付随行事 [平成21年6月13日(土)]

○学生製作のフォーミュラカーの見学：13:00~13:50 11号館1階107室

学生が製作したフォーミュラカーを見学 (プロジェクトリーダー 機械工学科 石川正芳君)

○オープンキャンパス

当日はオープンキャンパスが開催されます。ご興味のある方は早めにお越しいただき、各学科の研究室などを自由に見学ください。機械工学科からは2~3の研究室が参加する予定です。

巴 会 会 歌

作詞 井上俊一 (明四十三卒)
作曲 宮崎安兵衛 (リ)

一. 正気籠れる東陵に
誓も堅き健児等が
健美の気風樹立して
不撓不屈の旗高し
フレフレ

二. 高き自覚に溢る意気
確き自信に腕の業
若き健児が鍛え得し
稜々気骨の血は躍る
フレフレ

三. 汚穢紛々の文明に
憂国義憤の人あらば
血潮と汗に清らけき
巴の健児が誠きけ
フレフレ

四. 春妖香の霞わけ
秋壮烈の霜を踏み
集いて健児紫旗影に
永久の団結歌うなり
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械